



12月号  
平成29年11月30日  
横浜市立東中田小学校  
校長 天野 直美  
TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## さまざまつながりのなかで

副校長 江野澤 勝

今朝、家を出たときに、雲一つない青い空に真っ白な雪化粧した富士山が目に入ってきました。学校に着くと、校歌に歌われているような一段と大きく、くっきりと堂々とした姿が目に入り、冬の到来を感じさせてくれました。

11月17日には児童会が中心となり創立50周年記念集会が行われました。23日には記念式典、祝賀会が行われました。児童集会では児童の実行委員会が考えたセレモニー、テープカットなどが行われ、バースデーケーキには学級ごとにメッセージを入れたろうそくを立て、くす玉を割り全校が一体となりました。さらに各学年が出し物として歌や演奏の中に祝いの思いや工夫を凝らし発表しました。温かく素敵な会となりました。記念式典では50年の学校の歩みを綴った映像の上映やBクレッシェンドのコーラスの披露がありました。また、実行委員会からひな壇、卒業生パネル、ひなぼんスタンプ、PTAのOB会「東会」から花代カバーの贈呈が行われました。本校マーチングバンドの演奏もあり、祝賀会では中学年の子供たちによるソーラン節の演技を披露しました。

今年度は4月から「50周年の記念の年」ということで様々な場面で周年を祝う気持ちを表そうとスポーツフェスタ等、様々な場面で取り組んでまいりました。さかのぼれば昨年度のスローガンやマスコットキャラクターを考えるところからだったのでしょう。色々な取組を積み重ねていく中で、子供たちは今まで以上に東中田小の歴史の重みを感じ、自分たちを見守り支えてくださっている地域の方々のことを意識することができました。スポーツフェスタ、まち探検、ふれあいDoing等での直接のかかわりだけでなく、「ひなぼん」や校舎の上に掲げてある「50周年のスローガン」、「記念誌」等からも、そこに込められているとても大きく温かい思いを感じることができました。式典で児童を代表して挨拶をした6年生小池さんの言葉からも学校を大切に思う気持ち、地域や自分たちにかかわってくれている人・ものすべてに感謝する気持ちを大切に、自分たちも努力し次につなげていこうという思いが伝わってきました。

学校は子どもにとって1日の中で一番長く過ごす場所となります。楽しく笑い合いながらも、時には泣いたり怒ったりすることも、辛いことに歯を食いしばりながらがんばることもあるでしょう。そんな時にも大切なことを学びながら、子供たちは頑張ってきました。そんな時だからこそ大切なことを学べたのかもしれない。この50年の間、先輩たちもこういったことを経験しながら大人になっていったことでしょう。

様々なつながりを大切にしながら、子供たちがこれからも心豊かに学校生活を送っていくことができるよう職員一同努力してまいります。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。2年間にわたり50周年の式典、祝賀会を含む全ての記念事業を温かく見守り全力で支えてくださったPTAの皆様、50周年実行委員会の皆様方、地域の皆様方には心より御礼を申し上げます。